

Morioka castle town planning

会場 もりおか歴史文化館 2階企画展示室
開館時間 午前9時から午後7時 *入場受付は午後6時30分まで
観覧料 一般300円、高校生200円、
小・中学生100円、団体(20人以上)は各2割引
*盛岡市内在住で65歳以上の方、小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料
*障がいをお持ちの方々の介護をされる方(障が者1人につき1人まで)は無料
*会期中の休館日は、5月20日(火)、6月17日(火)

カ タ チ ノ マ ス

盛岡 城下町の 都市プラン

令和7年

4 / 26 (土) — 7 / 6 (日)

令和7年

4/26

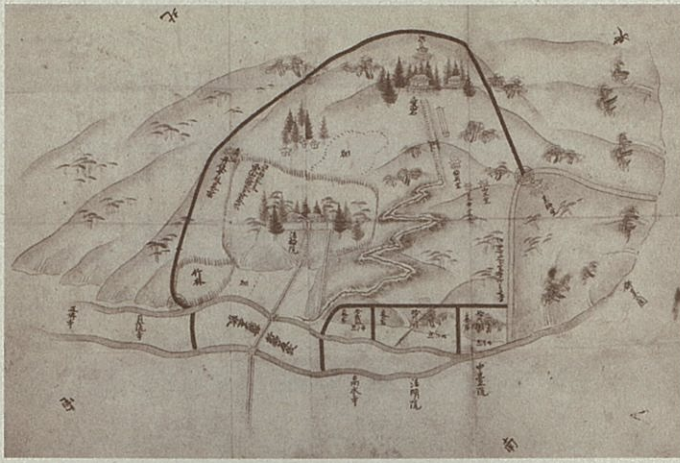
土

7/6

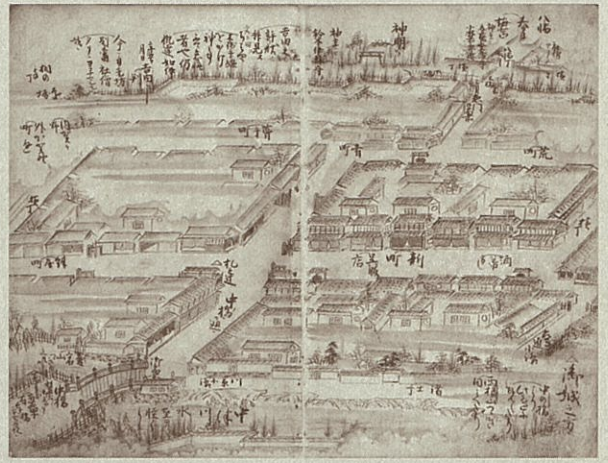
日

盛岡城

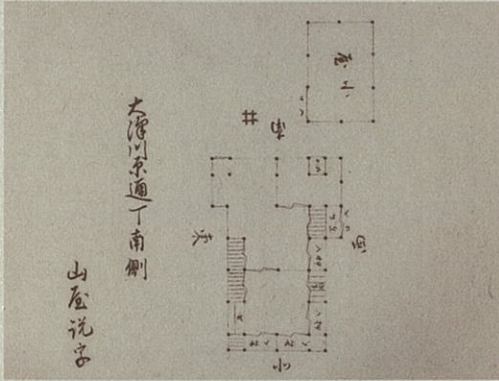
下町の都市プラン



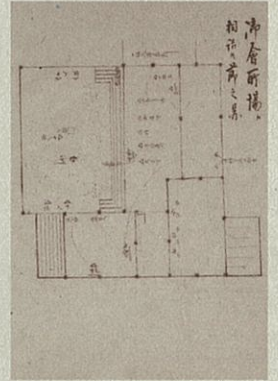
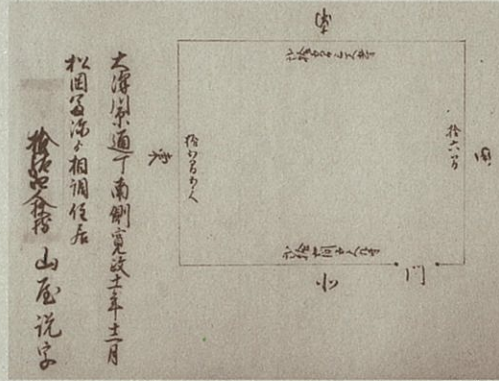
愛宕山図



増補行程記(中ノ橋通付近)



諸士屋敷并建家図面書上



浪表紙(御会所場図)

マチノカタチ

タチ

Morioka castle town planning

関連企画

*応募方法など詳細は当館HPを御覧ください。

① 散策イベント

ぶらり盛岡城下町-外堀跡を辿ってみよう-

●内容/盛岡城下町を実際に歩きながら、「マチノカタチ」を体感する。今回は外堀を境とする外曲輪(内丸)と遠曲輪との関係性を中心に辿る。

●日時/令和7年5月24日(土)/10:00-12:00

●会場/盛岡市街地(もりおか歴史文化館前集合・受付)

●定員/15名 *事前申し込み制(往復はがきor応募フォーム)。締め切りは5月2日(金)必着

●参加費/50円

② れきぶん講座

「盛岡砂子」にみる「内丸」地域

●講師/企画展担当学芸員

●内容/江戸時代後期の地誌「盛岡砂子」を丁寧に読み解くことで、盛岡城下町の実態を探る。今回は特に「内丸」地域に焦点を当てる。

●日時/令和7年6月28日(土)/13:30-15:30

●会場/当館1階 研修室

●定員/30名 *事前申し込み制(往復はがきor応募フォーム)。締め切りは6月2日(日)必着

③ ギャラリートーク

●内容/企画展担当学芸員による展示資料解説

●日時/令和7年5月3日(土)13:30-14:30

令和7年6月10日(土)13:30-14:30

●会場/当館2階 企画展示室 *当日自由参加(要入場料)

アメリカの新聞ニューヨーク・タイムズに、「2023年に行くべき52か所」の一つとして紹介されて以降、俄に国内外から注目を集めている盛岡。県庁所在地として岩手県の政治・経済・文化の中心として発展してきた二方、山々に囲まれ、町中には川が通る自然豊かな町として、盛岡の内外を問わず多くの人々に親しまれています。この現在の盛岡(特に中心市街地)は、盛岡藩主南部家の居城である盛岡城を中心として、計画的に建設された城下町が起点となっています。そもそも400年以上も昔、戦国時代から江戸時代に移り変わる時期に、盛岡南部家は何を意図してこの城下町を計画したのでしょうか。

また江戸時代250年という長きにわたり城下町として維持・発展していきなかに、「マチ」はどのように変化してきたのでしょうか。これは現在にも受け継がれている、盛岡という「マチ(街・町)」の「カタチ(形状・構成)」に込められた意味を探る試みでもあります。本企画展では、現存する盛岡城下町を中心とする、盛岡の歴史を示す各種資料をもとに、城下町の実態や都市としての特徴を探ります。今でも盛岡の街を歩くと、城下町であつた頃の名残を感じさせる建物・道筋・地形・地名など、様々な「歴史の痕跡」に出会えますが、それらをより深く知っていただく機会となれば幸いです。



〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel.019-681-2100 <https://www.morireki.jp/>

もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

